

2026 年度

大阪樟蔭女子大学大学院
人間科学研究科修士課程

専門科目

臨床心理学
心 理 学

専攻	臨床心理学 専攻							
受験番号								
氏名								

注意：受験番号，氏名を記入すること。

【 I 期：2025 年 9 月 20 日 実施 】

専門科目の問題は次のページから始まります。

問題 1

I. 以下の①～④の文章は、臨床心理学や心理的アセスメントに関わる用語について説明したものである。それぞれの文章が説明している用語を答えなさい。

- ①心理支援において介入の対象となる問題の成り立ちを説明する仮説のこと。事例定式化ともいう。
- ②精神科医である H.S.サリバンが患者と関わる際の姿勢として用いた用語で、治療者と患者の関係性の中で互に関わり影響し合いながら、治療者は患者と治療者自身の双方あるいはその関係性について観察すること。
- ③精神分析的な観点から、精神病理を神経症水準・境界例水準・精神病水準に分類する枠組み（水準）のこと。
- ④何世代かにわたる家族の構成（夫婦、親・きょうだいや各々の性別・年齢、生死の別、同居、等）を図式化して、視覚的に家族・親族の世代全体の関係を理解しやすくする図のこと。

①		②		③	
④					

II. 以下の①～⑤の文章は、ある心理検査について説明したものである。その説明が示す心理検査を【語群】A～Jの中から選んで、解答欄に記号を記入しなさい。

- ①他責・自責・無責と障害優位・自我防衛・要求固執の組み合わせによって、刺激への反応を分類する検査。
- ②ASD 特性と、ASD 者の支援ニーズを把握するための親面接式評価尺度。
- ③様々な分析法があるが、基本的には図版をいかに見たかという反応における知覚の形式を記号化し数量化してすることを中心に分析を行う検査。
- ④不注意サブスケールと多動性-衝動性サブスケールを含む、子どもの親または教師が回答する評価尺度。
- ⑤身体的症状・不安と不眠・社会的活動障害・うつ状態を測る、神経症者の症状把握や評価などを行うスクリーニング検査。

【語群】

- A. WAIS-IV B. ロールシャッハ・テスト C. ADHD-RS5 D. S-HTP
 E. GHQ-60 F. TAT G. Y-G 性格検査 H. P-F スタディ I. PARS-TR
 J. 新版 K 式発達検査 2020

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

Ⅲ. 以下の①～⑤の文章は、DSM-5-TRにおいて、ある精神疾患の診断基準の一つとして記されている内容である。その診断基準が記された精神疾患を【語群】A～Jの中から選んで、解答欄に記号を記入しなさい。

- ①課題や活動を順序立てることがしばしば困難である（例：一連の課題を遂行することが難しい、資料や持ち物を整理しておくことが難しい、作業が乱雑でまとまりがない、時間の管理が苦手、締切を守れない）。
- ②ほとんど一日中、ほとんど毎日の、すべて、またはほとんどすべての活動における興味または喜びの著しい減退（その人の説明、または他者の観察によって示される）。
- ③理想化とこき下ろしとの両極端を揺れ動くことによって特徴づけられる、不安定で激しい対人関係の様式。
- ④最小限に、または何のためらいもなく、見慣れない大人に進んでついて行こうとする。
- ⑤人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥で、例えば、さまざまな社会的状況に合った行動に調整することの困難さから、想像遊びを他者と一緒にしたり友人を作ることの困難さ、または仲間に対する興味の欠如に及ぶ。

【語群】

- A. 統合失調症 B. 大うつ病性障害 C. 解離性同一性障害 D. 脱抑制型対人交流障害
E. ナルコレプシー F. 反社会性パーソナリティ障害 G. 境界性パーソナリティ障害
H. 回避性パーソナリティ障害 I. 自閉スペクトラム症 J. 注意欠如多動症

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問題 2

I. 力動的心理療法において、治療者の自己理解は治療の質に深く関わるとされる。治療者が自己の感情をどのように心理療法に活かすべきか、「逆転移」、「自己一致（純粋性）」、「スーパービジョン」の観点から論じなさい。

(1) 逆転移

(2) 自己一致（純粋性）

(3) スーパービジョン

問題 3

I. 次の 5 つの用語対から 3 つの用語対を選んで、その差異と共通性が明確になるように解説文を作成しなさい。なお解説文のみで、選択した用語対が明確になるように解説文を作成すること。

- ・ 相関分析とカイ 2 乗検定
- ・ 洞察と試行錯誤学習
- ・ 選択的注意と知覚的防衛
- ・ 問題焦点型コピーングと情動焦点型コピーング
- ・ 測定の信頼性と妥当性

[illegible]

II. 次の①～⑧の問いに全て漢字あるいは仮名、もしくは漢字仮名混じりで答えなさい。ただし括弧内に指定された文字数で解答すること。

- ①ヒトの移動や視線方向の変化によって、視野内の対象物が移動して見える際、近い対象物ほど速く移動して見え、遠い対象物ほどゆっくりと移動して見える。奥行き知覚の手がかりとなるこの現象を何と呼ぶか。(4 文字)
- ②今後しなければならないことについて、“いつ何をするのか”の記憶を何と呼ぶか。(5 文字)
- ③最初に受け取った情報を基準としてしまうことにより、その後の判断や評価が引っぱられてしまう認知バイアスを何と呼ぶか。(6 文字)
- ④自分の考えや予想と合致するような情報を信じ、合致しない情報を見落としてしまう傾向を何と呼ぶか。(6 文字)
- ⑤膨大な臨床例から、パーソナリティの中心は気質であると考え、体型と気質を結びつけた3つの類型があるとしたのは誰か。(6 文字)
- ⑥誰にでも当てはまるような曖昧な記述を、自分だけに当てはまる特徴であると捉えてしまう心理効果を何と呼ぶか。(6 文字)
- ⑦先行呈示された情報によって、後続刺激の処理が促進あるいは抑制の影響を受ける現象を何と呼ぶか。(6 文字)
- ⑧質問紙調査において、1つの質問文の中で同時に2つの判断を求めるような質問項目を何と呼ぶか。(7 文字)

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	